

「先生は総理が消費増税延期なさると思いますか？」

平成 28 年 3 月 29 日

●さっしさんからの質問

安倍総理が消費増税の再延期を検討というニュースが流れてまいりました。先生は総理が消費増税延期なさると思いますか？

●西田昌司の答え

総理が再延期するかどうかはわかりませんが、2014 年の 4 月に消費税を 8 % に上げてから景気が落ち込んだという事実がありますし、さらに税率を上げてしまえば確実に景気が落ち込んでしまうという問題意識が多くの人にあるのだと思います。

8 % に上げるかどうか議論されていた頃、私は「今は上げるべきではないが、もしも上げるのであれば上げた分以上に財政出動を増やすべき」と申し上げていました。しかしその後、消費税を 8 % に上げたのにもかかわらず財政出動は増やさないという誤った舵取りがされてしまい、その結果景気が必然的に落ち込んでしまったのです。増税して民間からお金をより多く吸い上げることをしながら、吸い上げた分を政府が使わないのですから景気が落ち込むのは当然の話です。

景気回復のためには、増税を延期して財政出動をどんどんすれば良いのですが、その一方で、増えすぎた赤字国債をどうやって抑えるかを考えるのも政治の仕事です。ここまで赤字国債が増えてしまった原因は、過去の経済政策の失政にあります。初めて（3 % の）消費税を導入した平成元年頃には、将来の高齢化によって社会保障費が増えていくことがすでに懸念されていましたし、消費税を導入したのはこれから増えるであろう社会保障費を賄おう

という意図がありました。しかし、3%の消費税を導入する代わりに法人税や所得税は逆に減税をしてしまい、トータルで考えると本来は行うべき増税をしなかったのです。

要は、増税をしてもその分以上に財政出動を増やせば良いわけです。消費増税を延期するだけでは景気回復はできませんし、もしも消費増税したとしてもしっかりと財政出動をすれば問題はありません。国民負担率を上げないとこれから増え続ける社会保障費が賄えないという現実がありますので、国民にそのことはしっかりと説明して理解してもらわなければなりません。一方で、特にデフレ下の日本においては財政出動が必要ですし、政府がしっかりとお金を使って経済を活性化させることが非常に重要です。これからの日本には増税と財政出動の両輪が必要だ、と国民に訴えていかなければなりません。

反訳：ウッキーさん

Copyright：週刊西田 <http://www.shukannishida.jp>